

お茶高一戸山高理系女子育成連携事業 「女性研究者にインタビューしてみよう」



・インタビューさせていただいた先生：

西本右子先生

西本先生は分析化学、環境科学を専門としており、木炭、竹炭を分析して良いにおいだけを残して臭気を除去したり、酸性電解水などを総称する機能水の殺菌・除菌効果をもたらすのが塩素であったという事実を発見されたりしています。現在は、神奈川大学理学部理学科で教授として教鞭をとられ、女性研究者ネットワークで担当理事を務められています。



このインタビューでは主に研究についてと女性研究者の現状についてお聞きしました。

・インタビュー内容

一まず先生の研究についてお聞かせください。

化粧品の会社と共同して、ブリーチをすると髪質がどのように変わるのかや環境中の有用成分を回収したり、機能水（次亜塩素酸水）をどのような条件で作るのが一番良いのかを調べたりしています。

一苦労したことは何ですか。

ありません！うまくいかないときもありますが、それをどのように乗り越えるか試行錯誤するのが楽しい。苦労する過程が楽しいということです。

一高校生の内にやっておくべきことはありますか。

今やって一番楽しいことをするべきだと思います。義務的に何かをしたり、我慢したりするよりも、今楽しいこと、やりたいことをした先に何かあるのいいと思います。

一研究で行き詰った時の解決方法がありますか。

いったん棚に上げて、しばらくしてから再び取り組むようにしています。

一研究テーマを決めた経緯を教えてください。

有機物や無機物だと片方だけになってしまう気がして、なんでもできる分析化学を選びました。身近なもの、生活に密着したものが研究対象になるといいなと思って研究テーマを選びました。

一ポスター作りで工夫する点がありますか。

導入と結論だけをポスターの上に並べて目を通しやすくすることです。結果から比較するときには3つ以上の結果を挙げることで、数値の変化の傾向をわかりやすくすることも大切だと思っています。

一女性研究者の現状、人数の割合などについて教えてください。

昇進などは周りと比べて遅いと感じることはあります。でも、それを女性であることのせいにはしたくない、自分自身にも足りないものがあるのだろうなと思っています。また、今は女性研究者ネットワーク等で女性研究者同士の交流の機会を設けることで、研究者同士がつながりやすい環境になっています。人数については理系だと女性の数が少ないですが、文系の先生もいらっしゃるので、少ないとはあまり感じないです。

一女性だということが活かされたというときはありますか。

女性は研究者だと珍しいので、研究が目立ちやすいということはあると思います。

今回、班員の研究に対しても個々にアドバイスをいただきました。班員全員の励みになりました。ありがとうございました!!

・研究室訪問

先生のご厚意で、研究室を見せてもらいました!!
分析化学の研究所ということで、様々な研究機器を見ることができて楽しかったです。戸山高校には薄層クロマトグラフィーという液体の分析ができるものがありますが、気体を分析できるものはないので、ガスクロマトグラフィーが特に印象に残りました。また、ヘリウムなどのとても大きいガス管があって大学の設備の良さを実感しました。



・感想

研究者は1つのテーマだけを研究しているものだと思っていましたが、西本先生の話聞いて、分野によっては自由に様々な研究ができることが分かりました。女性研究者が少ないという状況に対して、たしかに研究者になりたい人がなれる環境を整えることが最も重要だと思いました。今回のインタビューを通して、研究者という職業と女性研究者の現状に対する考え方が改まったり、研究室を見せていただけたことなど、とても貴重な機会となりました。(都立戸山高等学校1年 H.H.)

化学系の分野ではどのような仕事や研究をしているのか、具体的なイメージをつかむことができました。比較をする際は3つのもので比較するのが良いなど、研究に関するアドバイスをもらうことができて良かったです。実際の研究室に案内していただいたことも、貴重な体験になりました。西本先生が研究を心から楽しんでいらっしゃるところが印象的でした。貴重なお話をありがとうございました。（都立戸山高等学校1年 C.A.）

今回のインタビューで先生の「苦労はない」という言葉が特に印象に残っています。苦労という状況さえも楽しむという先生の姿勢に触れ、私も困難な状況をも楽しんで研究したいと思いました。研究室訪問では普段、高校で触れることのない様々な分析機器を見ることができ、実際に研究している大学生の姿も見ること、大変刺激になりました。他校の高校生も大学の機器を使うために来ることがあると聞き、今回のインタビューのように私も勇気をもって様々な活動に参加したいと思いました。大変貴重なお話をありがとうございました。（都立戸山高等学校1年 K.K.）

実際に研究者の方にインタビューしてみて、たくさんの学びがありました。なかでも「何より、その時に楽しいと思えることを思いきりやるのが一番」とアドバイスをいただき、学ぶ姿勢について大きな気づきを得ました。また、女性研究者の現状について、世の中では女性研究者の少なさが課題として語られがちですが、先生の話聞く中で、「本当に研究をしたい人が安心して挑戦できる環境づくりこそが最も大切なのではないか」と考えるようになりました。今回のインタビューは、自分の将来や研究との向き合い方を改めて考える貴重な機会になりました。（都立戸山高等学校1年 I.T.）

最後に、今回インタビューをお受けしてくださった
西本先生にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

本当にありがとうございました！！
この経験を糧にして班員一同研究を頑張っていきます！